

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 草薙駅周辺地区

令和2年3月

静岡県静岡市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	草薙駅周辺地区			面積		250.9ha	
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	1,479.0	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 JR草薙駅北側歩道、JR草薙駅南口駅前広場、JR草薙駅南口駅前広場整備事業、JR草薙駅周辺公共サイン整備事業、草薙駅北口広場整備事業、JR草薙駅北口駐輪場等整備事業、(仮称)南口シンボルロード整備事業										
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業)										
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業	JR草薙駅北口駐輪場等整備事業、(仮称)南口シンボルロード整備事業				【JR草薙駅北口駐輪場等整備事業】 公設民営で整備を行う予定だったが、関係者との調整に時間を要し、計画期間内での事業実施が見込めないため、削除した。 【(仮称)南口シンボルロード整備事業】 高質空間整備をする予定であったが、検討に時間を要し、計画期間内での事業実施が見込めないため、削除した。				影響なし		
		提案事業											
		基幹事業											
	新たに追加した事業	提案事業											
	交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	30.3	H26	43.8	R1	34.5	54.2	○	あり なし	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、草薙駅北口通り線の整備が完了したことや、民間敷地内への緑化の促進が図られたことから、草薙駅周辺の緑化空間の割合が増加し、緑化に対する満足度の向上が図られた。	
	指標2	駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	36.7	H26	54.1	R1	38.8	54.1	○	あり なし	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、南北自由通路、北側歩道、北口通り線等の整備が完了することで、高質な駅前空間が整備されたことから、草薙駅周辺の環境空間の割合が増加した。	
	指標3	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	%	32.0	H26	41.5	R1	36.0	37.7	△	あり なし	夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺のまちづくりイベントの継続的な実施により、草薙のまちへの愛着度の向上がみられた。しかし、南口駅前広場の整備が遅れたことや北口駅前広場の芝生が養生中であったことなどから、駅前公共空間の利活用の促進が図られず、目標の達成に至らなかった。	令和2年度
	その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2												
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	「草薙カルテッド」が平成30年6月24日に「都市再生推進法人」に指定、令和元年7月13日に「都市利便増進協定」を締結したことから、地域主体のまちづくりの推進体制が整い、地元のまちづくり気運の高まりがみられる。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	アンケート調査等によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	・事後評価時に、アンケート調査を実施するとともに、駅利用者の実態に即した意向を把握するため、駅利用者のヒアリング調査を実施する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
	住民参加プロセス	草薙駅周辺まちづくり検討会議、草薙駅周辺まちづくり組織研究会、JR草薙駅北口グランドデザイン研究会、JR草薙駅南口グランドデザイン研究会、JR草薙駅南口メインストリート研究会、(仮称)JR草薙駅南口移動協議会、草薙まちづくりインターンシップ				都市再生整備計画に記載し、実施できた					・草薙地区の産学官民の更なる連携強化を図り、草薙駅周辺地区のまちづくりのアクションプランの実施に取り組む。 ・地域住民や学生等のまちづくりへの参画開会の創出を図り、草薙のまちづくりを担う人材育成に取り組む。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●			
	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
持続的なまちづくり体制の構築	一般社団法人 草薙カルテッド				都市再生整備計画に記載し、実施できた					・平成30年6月の「都市再生推進法人」の指定、令和元年7月の「都市利便増進協定」の締結を受け、地元のまちづくり組織として、地域主体にまちづくりの実践に取り組み、更なるまちの愛着度の向上に繋げる。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●				
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													

## 様式2-2 地区の概要

草薙駅周辺地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要										
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標:草薙駅周辺環境整備の推進と、地域主体のまちの管理運営体制の構築  目標1:駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔としての、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への質の高い緑の配置など、人々が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の整備 目標2:駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性の確保・利便性の向上と、誰もが安心感を得られる防犯性の向上 目標3:まちの特色である「文教」や「にぎわい」を創出するような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの管理運営体制の構築		駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	単位: %	30.3	H26	43.8	R1	54.2	R	
		駅前広場及び沿道の環境空間の割合	単位: %	36.7	H26	54.1	R1	54.1	R	
		公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	単位: %	32.0	H26	41.5	R1	37.7	R	
<div><div><div><div>■地域生活基盤施設 JR草薙駅周辺公共サイン整備事業</div><div>■高質空間形成施設 草薙駅北口広場整備事業</div><div>○(都)草薙駅南北自由通路整備事業</div><div>○JR草薙駅橋上駅舎整備事業</div><div>■道路事業 JR草薙駅北側歩道整備事業</div><div>○草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業</div><div>○草薙駅周辺地区バリアフリー道路特定事業</div><div>□まちづくり活動推進事業 まちづくり活動支援事業 ・まちを経営するエリアマネジメント組織の検討 ・植栽や沿道の維持管理の検討 ・学生人材バンクの検討 ・(仮)まちづくり活動支援事業の検討・参画 等</div><div>□事業活用調査事業 事業効果分析</div></div><div><div>市道草薙楠4号線整備事業</div><div>○(都)草薙駅北口通り線整備事業</div><div>JR草薙駅</div><div>静鉄草薙駅</div><div>静鉄草薙駅前駅</div><div>静岡県立大学</div><div>草薙神社</div><div>草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業</div><div>草薙駅周辺地区 A=250.9ha</div></div><div><div>至東京</div><div>至名古屋</div><div>至静岡市</div><div>至浜松</div><div>至豊田</div><div>至岡崎</div><div>至名古屋</div><div>至東京</div></div><div><div>国道1号線</div><div>南幹線</div><div>JR東海道新幹線</div><div>JR東海道本線</div><div>静岡鉄道</div></div><div><div>■道路事業 JR草薙駅南口駅前広場整備事業</div><div>■地域生活基盤施設 JR草薙駅南口駅前広場整備事業</div></div><div><div>凡例</div><div>■基幹事業</div><div>□提案事業</div><div>○関連事業</div></div></div></div>										
まちの課題の変化		<div>・草薙駅前の公共空間を活用し、地域住民や来街者等が滞留・交流できる空間を創出するとともに、地域主体のまちづくりイベント等の開催を拡大・充実し、草薙のまちの更なる愛着度の向上に取り組む必要がある。</div> <div>・草薙駅周辺の地域主体のまちづくりに向けて、地元のまちづくり組織である「草薙カルテッド」の運営体制の強化が必要である。</div> <div>・草薙駅北口の開設(常葉大学草薙キャンパスの開校も含む)に伴い、新たな人の流れが生まれたことから、通勤・通学時等における駅北口の安全・快適な移動環境の形成が必要である。</div>								
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		<div>・地域住民や立地企業等への「景観デザインブック」の周知・PRに努め、更なる緑化の促進に取り組む。</div> <div>・草薙駅周辺の公共空間について、「都市利便増進協定」を活用し、官民連携による維持管理の促進に取り組む。</div> <div>・草薙駅周辺の公共空間を活用した、滞留・交流空間の創出により、地域住民や学生等の来街者で賑わう駅前環境の創出に取り組む。</div> <div>・「草薙カルテッド」の組織の自立化や、地域が主体となったまちづくりに向けて、地元が自主的に取り組むまちづくり活動の側面支援を行う。</div> <div>・草薙駅北口を利用する地域住民や学生等の来街者が、通勤・通学時等において、安心・安全、快適に利用できる駅前環境の創出に取り組む。</div> <div>・草薙駅周辺の公共空間の整備(ハード事業)が概ね完了したことから、今後は整備された公共空間を活用したまちの賑わいづくり(ソフト施策)に取り組み、“次代に選ばれる”草薙地区として、更なるエリア価値の向上に努める。</div>								

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	－	－	－
B. 目標を定量化する指標		●	－	－	－
C. 目標値		●	－	－	－
D. その他( )		●	－	－	－

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	JR草薙駅北側歩道	54.0	L=140m,W=5m (H27)	57.0	L=140m,W=5m (H28)	平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を増額。	影響なし	●	
	JR草薙駅南口駅前広場	198.0	A=2,300㎡ (H27～H30)	241.0	A=2,300㎡ (H27～R1)	平成29年11月の計画変更(第2回変更)にて、工事費を精査したことにより事業費を増額。	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	JR草薙駅南口駅前広場整備事業	593.0	A=2,800㎡ (H28～H30)	582.0	A=2,800㎡ (H28～R1)	平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を減額。	影響なし	●	
	JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	110.0	約30基 (H27～H30)	84.0	約30基 (H27～R1)	平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を減額。	影響なし	●	
	JR草薙駅北口駐輪場等整備事業	310.0	収容400台	—	—	公設民営で駐輪場整備をする予定だったが、多機能型施設整備についての要望や地元企業とのPFI事業について関係者との調整に時間を要し、計画期間内での事業実施が見込めないため、平成31年1月の計画変更(第3回変更)により削除。	影響なし		
高質空間形成施設	草薙駅北口広場整備事業	230.0	A=3,100㎡ (H29)	406.0	A=3,100㎡ (H30)	平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を増額。	影響なし	●	
	(仮称)南口シンボルロード整備事業	342.0	L=200m	—	—	電線地中化をメインに高質空間整備をする予定であったが、当該道路の「メインストリート」化への検討や道路空間利活用を見据えたまちづくりの検討に時間を要し、計画期間内での事業実施が見込めないため、平成31年1月の計画変更(第3回変更)により削除。	影響なし		
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査	事業効果分析	25.0	— (H29～R1)	73.0	— (H29～R1)	平成29年7月の計画変更(第1回変更)にて事業費を増額、平成29年11月の計画変更(第2回変更)にて事業費を増額、平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて過年度の事業費確定に伴い事業費を減額。	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業	まちづくり活動支援事業	48.0	— (H27～R1)	36.0	— (H27～R1)	平成31年1月の計画変更(第3回変更)にて、過年度の事業費の確定により事業費を減額。	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
(都)草薙駅北口通り線整備事業		(都)草薙駅北口通線	384.0	885.0	平成24年度～平成30年度	平成24年度～平成30年度	計画通りに完成	
(都)草薙JR草薙駅南北自由通路整備事業		JR草薙駅南北自由通路	2,380.0	2,329.0	平成24年度～平成29年度	平成24年度～平成29年度	計画通りに完成	
草薙駅周辺地区 バリアフリー道路特定事業		—	64.0	64.0	平成27年度～令和元年度	平成27年度～令和2年度	継続実施	
市道草薙楠4号線整備事業		市道草薙楠4号線	41.0	143.0	平成25年度～平成27年度	平成25年度～平成30年度	計画通りに完成	
草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業		駐車場整備地区	15.0	0.0	平成29年度～平成29年度	平成29年度～平成29年度	計画通りに完成	
JR草薙駅橋上駅舎整備事業		JR草薙駅	—	—	平成24年度～平成29年度	平成24年度～平成29年度	計画通りに完成	
草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業		草薙駅南口	2,706.0	2,706.0	平成23年度～平成28年度	平成23年度～平成28年度	計画通りに完成	

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
				単位		基準 年度		基準 年度							目標 年度	
指標1	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	令和元年7月に、草薨駅周辺地区を対象とした住民アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「草薨駅の広場や道路は緑を感じる気持ちの良い空間になっている」の設問に対し、「とても思う、やや思う」と回答した割合を計測する。	-	-	30.3	H26	43.8	R1	モニタリング	H29	34.5	モニタリング	△		
										事後評価	確定見込み	●	54.2	事後評価		
指標2	駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	令和元年7月時点の整備区域内の公共空間面積(車道、歩道、広場など)における環境空間(車道以外の公共空間)の割合を計測する。	-	-	36.7	H26	54.1	R1	モニタリング	H29	38.8	モニタリング	△		
										事後評価	確定見込み	●	54.1	事後評価		
指標3	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薨のまちへの愛着度	%	令和元年7月に、草薨駅周辺地区を対象とした住民アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「公共空間の維持管理や活用に地域の人が関わることで、地域の愛着が育っている」の設問に対し、「とても思う、やや思う」と回答した割合を計測する。	-	-	32.0	H26	41.5	R1	モニタリング	H29	36.0	モニタリング	△	●	
										事後評価	確定見込み	●	37.7	事後評価		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)								その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)							
指標1	「草薨景観デザインブック」に則った、JR草薨駅北口駅前広場及び南口駅前広場の整備や民間敷地内への緑化が促進されたことで、草薨駅前ににおいて、緑を感じられる質の高い環境整備を実現することができた。								-							
指標2	JR草薨駅北口駅前広場・南口駅前広場、(都)草薨駅北口通線、JR草薨駅北側歩道、JR草薨駅南北自由通路の事業が完了したことで、高質な駅前環境が創出され、草薨周辺の環境空間の割合が向上した。								-							
指標3	「草薨カルテッド」を中心とした地域のまちづくり活動に対し、継続的な支援を行っているが、当初平成30年度に完成予定であった南口駅前広場の工事が遅れたこともあり、駅周辺での賑わいイベント等の開催が不十分であり、地域の住民にとって“まちの愛着度”を感じられにくい環境であった。								住民アンケート調査(令和元年7月実施)では、「草薨カルテッドを知っている」が33.7%であり、地域のまちづくり組織として取組活動等について、地域住民に十分な認知が図られていないことがわかった。							
指標4																
指標5																

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
	単位			基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

「草薙カルテッド」が平成30年6月24日に「都市再生推進法人」に指定、令和元年7月13日に「都市利便増進協定」を締結したことから、地域主体のまちづくりの推進体制が整い、地元のまちづくり気運の高まりがみられる。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
アンケート調査等によるモニタリング	予定どおり実施した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【実施時期】平成29年7月</li> <li>【実施結果】回収率36.9% (258/700)</li> </ul> 指標となるまちづくりの満足度や今後の期待値について、交付期間中の変化を確認することができた。	事後評価時に、アンケート調査を実施するとともに、駅利用者の実態に即した意向を把握するため、駅利用者のヒアリング調査を実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
草薙駅周辺まちづくり検討会議	予定どおり実施した	平成26年1月に草薙駅周辺の産学官民が一体となり、草薙駅周辺地区のまちづくりの検討を進めることを目的に発足。(令和2年3月時点、計16回開催) 【主な活動内容】 ・草薙駅周辺の将来のまちの姿を描き、まちづくりの指針やまちづくりのテーマについて協議し、「草薙駅周辺まちづくりビジョン」を策定。 ・草薙駅周辺における景観形成の取組みについて検討を行い、「くさなぎ景観デザインブック」を策定。 ・組織や活動の周知ツールとして、「Helloくさなぎ」や「草薙まちづくりニュース」等の広報媒体を発行。 ・その他勉強会等を開催。	「草薙駅周辺まちづくりビジョン」及び「草薙景観デザインブック」を活用した草薙駅周辺地区のまちづくりの啓発活動・具体的な取組みの推進を図る。 「Helloくさなぎ」や「草薙まちづくりニュース」の継続的な発行を通じた地域住民へのまちづくり情報の周知を図り、更なる愛着度の向上に繋げる。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
草薙駅周辺まちづくり組織研究会	予定どおり実施した	公共空間の持続的な活用や継続的なまちの魅力の向上を図るための組織づくりの検討を目的として発足。 【主な活動内容】 ・コア会議を実施し、まちづくり組織の体制や定款等の基本事項について検討。 ・ワーキンググループを実施し、まちづくり組織の事業内容について検討。 ・草薙駅周辺の取り組みを地域住民に周知し、意見交換を行う場として「まちづくり組織フォーラム」を開催。(令和2年3月時点、計3回開催) ・平成29年2月に、まちづくり組織「一般社団法人 草薙カルテッド」を設立 ・平成30年6月に、草薙カルテッドを「都市再生推進法人」に指定 ・令和元年7月に、草薙カルテッドと「都市利便増進協定」を締結	草薙カルテッドを中心とした地域主体のまちづくり活動の実践を目指す。(駅周辺の賑わいづくり、安全・安心・住み良さづくり、文化教育活動の実施など) 草薙カルテッドによる住民意向を反映した取組みの推進により、地域住民のイベント活動への積極的な参加を促し、更なるまちの愛着度の向上に繋げる。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
JR草薙駅北口グランドデザイン研究会	予定どおり実施した	「草薙駅周辺まちづくりビジョン」の策定を受け、JR草薙駅北口の将来のまちの在り方について、地域一体となって検討する場を設けるために発足。 【主な活動内容】 ・JR草薙駅北口の現況や課題を踏まえ、北口地区の目指すべきまちづくりの方向性として、「JR草薙駅北口グランドデザイン」を取り纏めた。(平成27・28年度)	「JR草薙駅北口グランドデザイン」に示したまちづくりの方向性を実現するため、産学官民が一体となり、実現に向けた具体的な検討・取組み(アクションプラン)を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

JR草薙駅南口グランドデザイン研究会	予定どおり実施した		「草薙駅周辺まちづくりビジョン」の策定を受け、JR草薙駅南口の将来のまちの在り方について、地域一体となって検討する場を設けるために発足。 【主な活動内容】	「JR草薙駅南口グランドデザイン」に示したまちづくりの方向性を実現するため、産学官民が一体となり、実現に向けた具体的な検討・取組み（アクションプラン）を進める。
	予定はなかったが実施した	●	・JR草薙駅南口の現況や課題を踏まえ、南口地区の目指すべきまちづくりの方向性として、「JR草薙駅南口グランドデザイン」を取り纏めた。（平成29・30年度）	
	予定したが実施できなかった（理由）		・南口地区の安心安全なまちづくりの実現に向けた取り組みの一環として、草薙神社周辺や草薙川周辺での「照明社会実験」を実施。（平成30年度） ・「南口グランドデザイン」に掲げたまちづくりの実現を図るため、アクションプランを推進。（令和元年度）	
JR草薙駅南口メインストリート研究会	予定どおり実施した		「JR草薙駅南口グランドデザイン」の策定を受け、南口メインストリートの賑わいづくりに向けた取り組みを検討する場として発足。（令和元年度）	南口メインストリートの賑わいづくり実現に向けて、将来的な道路空間の再編や電線地中化等も見据え、公共空間を活用した滞留・交流空間の創出に向けた検討を進める。
	予定はなかったが実施した	●	【主な活動内容】	
	予定したが実施できなかった（理由）		・南口メインストリートの公共空間を活用した“おもてなし空間”の創出検討 ・南口メインストリート“賑わいミニ社会実験”の実施 等	
（仮称）JR草薙駅南口移動協議会	予定どおり実施した		「JR草薙駅南口グランドデザイン」の策定を受け、南口地区でのコミュニティ交通の導入等による快適な移動環境の実現に向けた取り組みを検討する場として発足。（令和元年度）	南口地区の快適な移動環境の実現に向けて、地域の自主的な運行による「コミュニティ交通」の導入に向けた検討を進める。
	予定はなかったが実施した	●	【主な活動内容】	
	予定したが実施できなかった（理由）		・南口地区の快適の在り方を検討する場として、“（仮称）移動研究会”を設立 ・地区特性にあった具体的な移動手段や運営手法等を検討 等	
草薙まちづくりインターンシップ	予定どおり実施した		草薙地区に立地する静岡県立大学と常葉大学（平成30年4月草薙キャンパス開校）の交流を深め、草薙のまちづくりの周知を図るとともに、地域のまちづくりの担い手を育成することを目的に「草薙まちづくりインターンシップ」を開催。（平成30年度・令和元年度）	両大学の連携・交流を深め、“文教のまち”としてのブランド価値を高めるとともに、草薙のまちづくりを支える人材育成を図ることを目的に、継続的な「草薙まちづくりインターンシップ」の開催に取り組む。
	予定はなかったが実施した	●	【主な活動内容】	
	予定したが実施できなかった（理由）		・平成30年度「草薙を好きになる！まちのあかりづくりの実践」 ・令和元年度「草薙を好きになる！まちの賑わいづくりの実践」	

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
一般社団法人 草薙カルテッド	予定どおり実施した		【組織名】 一般社団法人 草薙カルテッド	平成30年6月の「都市再生推進法人」の指定、令和元年7月の「都市利便増進協定」の締結を受け、地元のまちづくり組織として、地域主体にまちづくりの実践に取り組み、更なるまちの愛着度の向上に繋げる。（①駅周辺賑わい事業、②安心安全・住み良さ事業、③文化教育事業）
	予定はなかったが実施した	●	【組織概要】 草薙のまちづくりを持続的・一体的・効果的にマネジメントし、住民・商業者・来街者等に価値のある都市サービスを提供することを目的に活動を実施。	
	予定したが実施できなかった（理由）			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった（理由）			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長:都市局 次長兼都市計画部長 本部長:総務局 危機管理総室長、企画局 次長、財政局 財政部長、市民局 次長、観光交流文化局 次長、環境局 次長、保健福祉長寿局 次長、子ども未来局 次長、経済局 次長、都市局 建築部長、建設局 次長兼土木部長、建設局 道路部長、消防局 消防部長、上下水道局 下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	第1回:令和元年10月23日	都市局 都市計画部 都市計画課
草薙駅周辺地区 地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長:清水駅周辺整備課 参与兼課長 部会員:都市局都市計画課 参与兼課長、都市局交通政策課 課長、建設局道路計画課 参与兼課長、建設局道路保全課 課長	第1回:令和元年8月7日 第2回:令和元年9月26日	都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2			
指標名		駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度(%)		駅前広場及び沿道の環境空間の割合(%)			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路:JR草薙駅北側歩道	—	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、草薙駅北口通り線の整備が完了したことや、民間敷地内への緑化の促進が図られたことから、草薙駅周辺の緑化空間の割合が増加し、緑化に対する満足度の向上が図られた。	◎	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、南北自由通路、北側歩道、北口通り線等の整備が完了したことで、高質な駅前空間が整備されたことから、草薙駅周辺の環境空間の割合が増加した。		
	道路:JR草薙駅南口駅前広場	◎		◎			
	地域生活基盤施設:JR草薙駅南口駅前広場整備事業	◎		◎			
	地域生活基盤施設:JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	—		◎			
	高質空間形成施設:草薙駅北口広場整備事業	◎		◎			
提案事業	事業活用調査:事業効果分析	—		—			
	まちづくり活動推進事業:まちづくり活動支援事業	—		—			
関連事業	(都)草薙駅北口通り線整備事業	◎		◎			
	(都)草薙JR草薙駅南北自由通路整備事業	—		◎			
	草薙駅周辺地区 バリアフリー道路特定事業	—		—			
	市道草薙楠4号線整備事業	—		—			
	草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業	—		—			
	JR草薙駅橋上駅舎整備事業	—		○			
	草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業	—		○			

※指標改善への貢献度  
◎:事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。  
○:事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。  
△:事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。  
—:事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	草薙駅周辺の質の高い緑化空間を適切に維持管理していくとともに、「景観デザインブック」の周知や活用促進に努め、商店街や民間敷地等へ緑化を促進し、更なる緑化空間の創出に努める。	「都市利便増進協定」の対象範囲を拡大するなど、官民連携による適切な草薙駅周辺の環境空間の維持管理・活用促進に取り組み、高質な駅前環境の保全に努める。		
-------	--	--	--	--



添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3											
指 標 名		公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度(%)											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路:JR草薙駅北側歩道	－	夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺のまちづくりイベントの継続的な実施により、草薙のまちへの愛着度の向上がみられた。しかし、南口駅前広場の整備が遅れたことや北口駅前広場の芝生が養生中であったことなどから、駅前公共空間の利活用の促進が図られず、目標の達成に至らなかった。	Ⅰ									
	道路:JR草薙駅南口駅前広場	××											
	地域生活基盤施設:JR草薙駅南口駅前広場整備事業	××											
	地域生活基盤施設:JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	－											
	高質空間形成施設:草薙駅北口広場整備事業	×											
提案事業	事業活用調査:事業効果分析	－											
	まちづくり活動推進事業:まちづくり活動支援事業	△											
関連事業	(都)草薙駅北口通り線整備事業	－											
	(都)草薙JR草薙駅南北自由通路整備事業	×											
	草薙駅周辺地区 バリアフリー道路特定事業	－											
	市道草薙楠4号線整備事業	－											
	草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業	－											
	JR草薙駅橋上駅舎整備事業	－											
	草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業	－											

※目標未達成への影響度  
××:事業が効果を発揮せず、  
指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
×:事業が効果を発揮せず、  
指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
△:数値目標が達成できなかった中でも、  
ある程度の効果をあげたと思われる。  
－:事業と指標の間には、もともと関係がないことが  
明確なので、評価できない。

※要因の分類  
分類Ⅰ:内的な要因で、予見が可能な要因。  
分類Ⅱ:外的な要因で、予見が可能な要因。  
分類Ⅲ:外的な要因で、予見が不可能な要因。  
分類Ⅳ:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	「都市利便増進協定」を活用し、草薙駅周辺の公共空間を活用した、地域のまちづくりイベント等の拡大・充実化を図るとともに、地域の学生や住民へのまちづくりへの参画機会の創出を図り、更なるまちの愛着度の向上を目指す。地元のまちづくり組織である「草薙カルテッド」の取組や活動について、HPやSNS等を活用した周知・PR活動の拡大を図り、地域への認知度を高め、まちの愛着度の向上につなげる。			

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本 部 長：都市局 次長兼都市計画部長 本 部 員：総務局 危機管理総室長、企画局 次長、財政局 財政部長、市民局 次長、観光交流文化局 次長、環境局 次長、保健福祉長寿局 次長、子ども未来局 次長、経済局 次長、都市局 建築部長、建設局 次長兼土木部長、建設局 道路部長、消防局 消防部長、上下水道局 下水道部長、教育委員会事務局教育局次長	第1回：令和元年10月23日	都市局 都市計画部 都市計画課
草薙駅周辺地区 地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部 会 長：清水駅周辺整備課 参与兼課長 部 会 員：都市局都市計画課 参与兼課長、都市局交通政策課 課長、建設局道路計画課 参与兼課長、建設局道路保全課 課長	第1回：令和元年8月7日 第2回：令和元年9月26日	都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課

添付様式5－② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
【「緑」について】 ・駅周辺及び沿道では緑を感じさせるような空間となっていないため沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への緑の配置など、「緑」の質を高め、人々が滞留し、交流できる緑環境整備が課題	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、草薙駅北口通り線の整備が完了し、かつ民間敷地内への緑化の促進が図られたことから、草薙駅周辺の緑化空間の割合が増加し、市民の緑化に対する満足度の向上が図られた。	—	「都市利便増進協定」を締結し、今後、草薙駅周辺の公共空間の維持管理、利活用について、地域が主体となり取り組む必要があることから、地元のまちづくり組織である「草薙カルテッド」の運営体制の強化が必要である。  草薙駅北口の開設(常葉大学草薙キャンパスの開校も含む)に伴い、新たな人の流れが生まれたことから、通勤通学時等における駅北口の安全・快適な移動環境の形成が必要である。
【「安全・安心」について】 ・駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性・快適性の確保及び誰もが安心感を得られるような生活環境の構築と防災、防犯活動の継続性が課題	JR草薙駅南口駅前広場や北口駅前広場、南北自由通路、北側歩道、北口通り線等の整備が完了し、草薙駅周辺の環境空間の割合が増加したことから、草薙駅の利用者等が安全・安心に利用できる駅前環境の創出が図られた。	—	
【「文教・にぎわい」について】 ・草薙の特色である「文教」や「にぎわい」をより創出できるような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの持続的な管理運営体制の構築が課題	夏フェス・冬フェスや草薙マルシェなど、駅周辺のまちづくりイベントの継続的な実施により、草薙のまちの愛着度の向上が図られた。	整備された草薙駅前の公共空間を活用し、地域住民や来街者等が滞留・交流できる空間を創出するとともに、地域主体のまちづくりイベント等の開催を拡大・充実し、草薙のまちの更なる愛着度の向上を目指す必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。



添付様式5－③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	「景観デザインブック」を活用した更なる緑化の促進	・地域住民や立地企業等への「景観デザインブック」の周知・PRに努め、民間敷地内における緑化の促進に取り組む。	・「景観デザインブック」の配布 ・「景観デザインブック」の周知・PRポスター、チラシの配布等
	整備された公共空間の適切な維持管理	・「都市利便増進協定」を活用した、官民連携による公共空間の維持管理の促進に取り組む。	・「都市利便増進協定」の締結(対象範囲の拡大) 等

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	草薙駅周辺の公共空間を活用したまちの賑わいづくりの促進	・草薙駅周辺の公共空間を活用した、滞留・交流空間の創出により、地域住民や学生等の来街者で賑わう駅前環境の創出に取り組む。	・南口メインストリート整備事業 等
	「草薙カルテッド」を中心とした地域主体のまちづくりの促進	・「草薙カルテッド」の組織の自立化や、地域が主体となったまちづくりの実現に向けて、地元が自主的に取り組むまちづくり活動の側面支援を行う。	・まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業) 等
	草薙駅北口の利用環境の改善	・草薙駅北口を利用する地域住民や学生等の来街者が、通勤・通学時等において、安心・安全、快適に利用できる駅前環境の創出に取り組む。	・草薙駅北口駐輪場等整備事業 ・中之郷9号線歩道整備事業 等

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4－②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4－③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5－②)を再確認した。

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

草薙駅周辺の公共空間の整備(ハード事業)が概ね完了したことから、今後は整備された公共空間を活用したまちの賑わいづくり(ソフト施策)に取り組み、“次代に選ばれる”草薙駅周辺地区として、更なるエリア価値の向上に努める必要がある。
--

添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2－①、2－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2－①、2－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度								予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	30.3	H26	43.8	R1	確定	●	54.2	○	あり				
							見込み				なし				
指標2	駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	36.7	H26	54.1	R1	確定	●	54.1	○	あり				
							見込み				なし				
指標3	公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	%	32.0	H26	41.5	R1	確定	●	37.7	△	あり	●	令和2年度	草薙地区の住民アンケート調査を実施し、目標の達成状況を確認する。	—
							見込み				なし				
指標4				H		H	確定				あり				
							見込み				なし				
指標5				H		H	確定				あり				
							見込み				なし				
その他の数値指標1				H			確定								
							見込み								
その他の数値指標2				H			確定								
							見込み								
その他の数値指標3				H			確定								
							見込み								



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・中間評価を実施したことにより、事業期間中の事業効果を確認することができた。	・事業中の数値目標・成果の達成状況を測るため、「中間評価」を実施することが望ましい。 ・「愛着度」など、個人の主観に左右される指標を設定する際には、その定義を明確化する必要がある。
	うまくいかなかった点	・「まちの愛着度」の定義設定が不十分であり、かつ事業の整備遅れ等が影響したため、数値目標を達成することができなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	・「愛着度」の向上に資する取組や事業について、明確な位置づけや定義が必要である。
	うまくいかなかった点	・「まちの愛着度」の向上するための、取組・事業の設定が不十分であり、数値目標を達成することができなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・計画策定時(H26)、中間評価時(H29)、事後評価時(R1)において、定期的な住民アンケート調査を行ったことで、段階的な事業評価を確認することで、効果的な計画検討・事業推進に取り組むことができた。	・段階的な事業の達成状況や新たに発現した効果・課題等を把握するため、「中間評価」を実施することが望ましい。
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【都市再生整備事業の活用予定地区】

・草薙駅周辺地区(第3期計画)

【事後評価を予定している地区】

・駿府ふれあい地区(第3期)

## (5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和元年11月25日～	令和元年11月25日～12月25日	パブリックコメント(意見公募手続)にて実施  郵送、FAX、電子申請および清水駅周辺整備課へ直接持参	都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	清水駅周辺整備課窓口における閲覧	令和元年11月25日～	令和元年11月25日～12月25日		

住民の意見	<p>全13件の意見を頂きました。以下、代表意見を記載します。</p> <p>【草薙駅周辺の環境整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR草薙駅の駅舎や駅前広場が整備され、まちの雰囲気が良くなった。</li> <li>・南口駅前広場は、以前に比べ、人が集まる良い空間となった。北口駅前広場は緑が感じられる空間となった。</li> <li>・全体的にまちの清潔感が増し、温かさが感じられる空間になった。一種のオープンネスさが人との交流をしやすい場所にしたと感じた。</li> </ul> <p>⇒(市から回答)草薙駅周辺では、南北の駅前広場の整備に取り組み、誰もが利用でき、居場所となる空間づくりを進めてきたとともに、「くさなぎ景観デザインブック」を策定し、統一感のある景観形成に取り組んでまいりました。今後も引き続き、質の高い環境の形成、維持・保全に努めてまいります。</p> <p>【地域の大学(学生)との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅南北に県立大学・常葉大学が立地しているため、両大学の学生等と連携したまちづくりイベントなどがあると良い。</li> </ul> <p>⇒(市から回答)本市では、学生のまちづくりへの参画の取組みとして、「草薙駅周辺まちづくりワークショップ」を開催しています。今後も引き続き、同取組みを継続するとともに、学生と連携した様々なまちづくりイベントを企画し、更なる草薙の魅力向上に努めてまいります。</p> <p>【草薙商店街通り(南口メインストリート)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR草薙駅から静岡鉄道草薙駅の間において、人の往来はあるが、滞留は少ない。公園的な要素も取り入れた憩いの場があると良い。</li> <li>・駅前商店街に、学生や若い人が利用したいと感じるようなお店があれば、より賑やかになるのではないかと思います。</li> </ul> <p>⇒(市から回答)草薙駅周辺では、今年度「賑わいミニ社会実験」として、メインストリートの歩道空間を活用した休憩スペースの設置や安心安全を感じる照明環境づくりに取り組んでまいりました。また、草薙カルテッドが都市再生推進法人の指定を受け、都市利便増進協定を締結したことから、公共空間を活用したオープンカフェの設置やマルシェの開催等が可能となりました。そのため、今後は同組織を中心に、公共空間の利活用を促進し、更なるまちの磨き上げに取り組んでまいります。</p>
-------	--

## (6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	日誌 一幸(静岡大学人文社会科学部 教授) 志村 真紀(横浜国立大学地域実践教育研究センター 准教授)	令和2年3月9日(月)	都市局 都市計画部 都市計画課	静岡市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	松本 亨(技術士) 片山 幸久(公益財団法人静岡まちづくり公社 常務理事)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし
	成果の評価	<p>◆【指標1】駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度について</p> <p>・アンケート結果によると北口の回答者が多く、また、まちの現状として、北口に比べ南口の緑が少ないことから、今後は南口の緑化を推進していくことが望ましいと考える。</p> <p>◆【指標2】駅前広場及び沿道の環境空間の割合について</p> <p>・夜間の照明環境の取組は大変すばらしく評価できる。市民に対し、より身近なものに感じてもらうため、照明デザインの講習会などを開催すると良い。</p> <p>◆【指標3】公共空間の利活用や管理体制の構築に伴う草薙のまちへの愛着度について</p> <p>・(一社)草薙カルテッドが市民に対し十分に認知されていないと感じる。今後は、イベント以外の活動や駅前で人が集まれる居場所づくりに取り組むなど、市民を巻き込んだ取組の展開が必要であると感じる。</p>
	実施過程の評価	・特になし
	効果発現要因の整理	<p>◆未達成の目標指標(草薙のまちへの愛着度)の改善に向けて</p> <p>・(一社)草薙カルテッドの情報発信について、定期的に実施していくことが望ましい。</p> <p>・現状の満足度が低い、30代や子育て世代が求める・必要とする取組や活動を実施していくことが望ましい。</p>
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表は適切に行われたことが確認された。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<p>◆南口イベント広場の活用について</p> <p>・大道芸ワールドカップをはじめ、様々なイベントや活動での利活用を促進することが望ましい。</p>
	フォローアップ	・特になし
	その他	<p>◆(一社)草薙カルテッドの取組・活動について</p> <p>・全国的にも注目度の高い取組・活動であるため、市として継続的・積極的な支援が必要と考える。</p> <p>・草薙駅周辺地区の発展に向けて、都市再生推進法人ならではの取組・活動や他団体との連携を促進することが望ましい。</p> <p>・草薙駅周辺地区の大学・学生との連携のほか、静岡銀行などの企業との連携も促進できると良い。</p>
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であることが確認された。
その他		・特になし



# 都市再生整備計画(第4回変更)

くさなぎえきしゅうへん ちく  
草薙駅周辺地区

しずおかけん しずおかし  
静岡県 静岡市

令和2年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	しずおかし 静岡市	地区名	くまがねまちのうへん 草薙駅周辺地区	面積	250.9 ha
計画期間	平成	27	年度	～	平成	31	年度
交付期間	平成	27	年度	～	平成	31	年度

目標
大目標:草薙駅周辺環境整備の推進と、地域主体のまちの管理運営体制の構築
目標1:駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔としての、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への質の高い緑の配置など、人々が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の整備
目標2:駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性の確保・利便性の向上と、誰もが安心感を得られる防犯性の向上
目標3:まちの特色である「文教」や「にぎわい」を創出するような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの管理運営体制の構築
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
①まちづくりの経緯
・草薙地区は、旧清水市・静岡市の市境部分に位置し、JR線と静岡鉄道の2線が利用できる交通至便な市街地である。JR新幹線・在来線以南(南地区)は静岡地区土地区画整理事業(県施工、昭40～平5、132.1ha)によって計画的な基盤整備がなされるとともに、後背丘陵地の豊かな自然環境等も背景として、市内有数の優良な住宅地と、静岡県立大学、県立美術館・図書館の立地による文教地区が形成されてきた。
・現在草薙駅周辺では、静岡地区土地区画整理事業から20年以上が経過し、まちを取り巻く状況への変化に対応する新たな動きとして、駅北側の静岡銀行本部棟の建て替え事業、駅南側の駅前市街地再開発事業等、大規模な民間開発が動きつつある。
・社会情勢の変化や多様化・複雑化する市民ニーズに対し、行政主体によるまちづくりの運営等では、地域の実情にあったきめ細かな施設運営やサービスの提供が難しく、画一的なまちになり、特徴ある資源を活かすことができなくなる可能性がある。そこで、草薙の歴史・文化を活かした持続発展的な地域経営を目指すため、草薙に関わる人たちが主体となり、官民協働でまちの管理運営を推進していく体制が求められている。
・こうした中、草薙地区では平成27年1月に産学官民連携により、草薙駅周辺まちづくりビジョンが策定され、平成29年2月にはエリアマネジメント組織である「一般社団法人 草薙カルテッド」が設立されるなど、地域が主体となったエリアマネジメントが進展している。
②草薙のまちの状況
・有度山につながるケヤキ並木、住宅の庭や生け垣、住宅地内に点在する生産緑地や植木の圃場の緑などが豊富である。→「緑」
・草薙駅を中心とした地域には、緑豊かな環境を活かした良好な住宅地や駅前商店街などが立地し、駅を中心としたコンパクトなまちが形成されている。また、地域活動により良好な生活環境の形成や、防災性や防犯性向上への意識が高まりつつある。→「安全・安心」
・有度山の北麓に県立中央図書館が移転後、県立大学が立地し、文教ゾーンとしてのイメージを形成している。また、四季を通じて様々な祭や催事が開催されており、草薙神社の草薙大龍勢は文化的景観を形成している。→「文教」
・草薙商店街、草薙に関連する企業、住民や県大などの学生、草薙で活動している人たちによる地域交流イベントの開催等、地域の活性化を図る取り組みが実施されている。→「にぎわい」
課題
【「緑」について】
・草薙駅周辺には多様な緑が存在するが、駅周辺及び沿道では緑を感じさせるような気持ちのよい空間となっていないため、駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔として、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への緑の配置など、「緑」の質を高め、人々が滞留し、交流できる緑環境整備が課題
【「安全・安心」について】
・今後開発が進むことにより、駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性・快適性の確保が課題となっている。また、住宅地などにおいて誰もが安心感を得られるような生活環境の構築と、防災、防犯活動の継続性などが今後の課題である。
【「文教・にぎわい」について】
・今後駅周辺における公共空間の整備が進む中、草薙の特色である「文教」や「にぎわい」をより創出できるような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの持続的な管理運営体制の構築が課題である。
将来ビジョン(中長期)
・既存の文教施設等を活かした、高度な文化・レクリエーション機能を維持していくとともに、地区周辺の住宅及び商業と一体となった拠点形成を図る(静岡市都市計画マスタープランより)。
・静岡市都市計画マスタープランでは、清水区の骨格を形成する拠点(地域拠点)として草薙駅周辺地区が位置づけられている。
・同マスタープランの清水区の都市交通の方針(主要な交通結節点の方針)では、駅前広場等の未整備により、駅利用交通のほとんどが南口に集中するといった問題を抱えているJR草薙駅北口においては、駅前広場の整備や歩行者空間のバリアフリー化を推進し、駅利用交通の分散化と交通の円滑化を図り、交通結節点の機能強化を図るとされている。
・草薙駅周辺まちづくりビジョン(平成27年1月策定では、今後40年後を見据え「次代につながる選ばれる街」を目指します。～草薙駅周辺に住む人、来る人、みんなが主役～)をまちづくりの理念とし、草薙駅周辺における現状や地域が求めていること、地域の想いなどから、4つの分野をテーマとしてまちづくりを推進していく。
①緑につつまれながら～緑と暮らす街～: 身近な緑の創出や回遊を促す緑空間づくりに取組むことで、人々に安らぎを与え、生涯に渡る心と体の健康を育む緑あふれるまちづくりを進める。
②知を創造する～「文教」の街～: より身近に歴史・文化を感じられるよう地域固有の歴史・文化資源を活用し、次世代へ継承する取組みを進め、「文教」の街としての魅力を高める。
③ほっとする～「安全・安心」な街～: 交通環境の向上や防災対策・防犯対策を強化し、誰もが安全で安心できるまちづくりを進める。
④コミュニティを、未来へ～「にぎわい」のある街～: 持続可能なまちとしていくため、商業空間づくりや多様なニーズに対応するイベントの開催、多様な価値観を共有できる活動の場の創出などにより「にぎわい」のあるまちを目指す。
・今回の草薙駅周辺地区都市再生整備計画は、草薙駅周辺まちづくりビジョン推進のための短期計画(概ね5年間)として位置づける。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目 標 と 指 標 及 び 目 標 値 の 関 連 性	従 前 値	基 準 年 度	目 標 値	目 標 年 度
1. 駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度	%	地区住民を対象としたアンケート調査結果により、「駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度」に対し、「そう思う、ややそう思う」と回答した人の割合	駅周辺の環境整備による、公共空間の緑の質に対する指標	30.3%	平成26年度	43.8%	平成31年度
2. 駅前広場及び沿道の環境空間の割合	%	草薙駅周辺区域の公共空間(車道、歩道、広場など)のうち、環境空間(車道以外の公共空間)が占める面積割合	駅周辺の環境整備による、駅前広場周辺の安全性・利便性等に対する指標	36.7%	平成26年度	54.1%	平成31年度
3. 公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度	%	地区住民を対象としたアンケート調査結果により、「草薙のまちに対する愛着度」に対し、「そう思う、ややそう思う」と回答した人の割合。	駅周辺環境の整備による、まちへの愛着意識に対する指標	32.0%	平成26年度	41.5%	平成31年度



都市再生整備計画の整備方針等

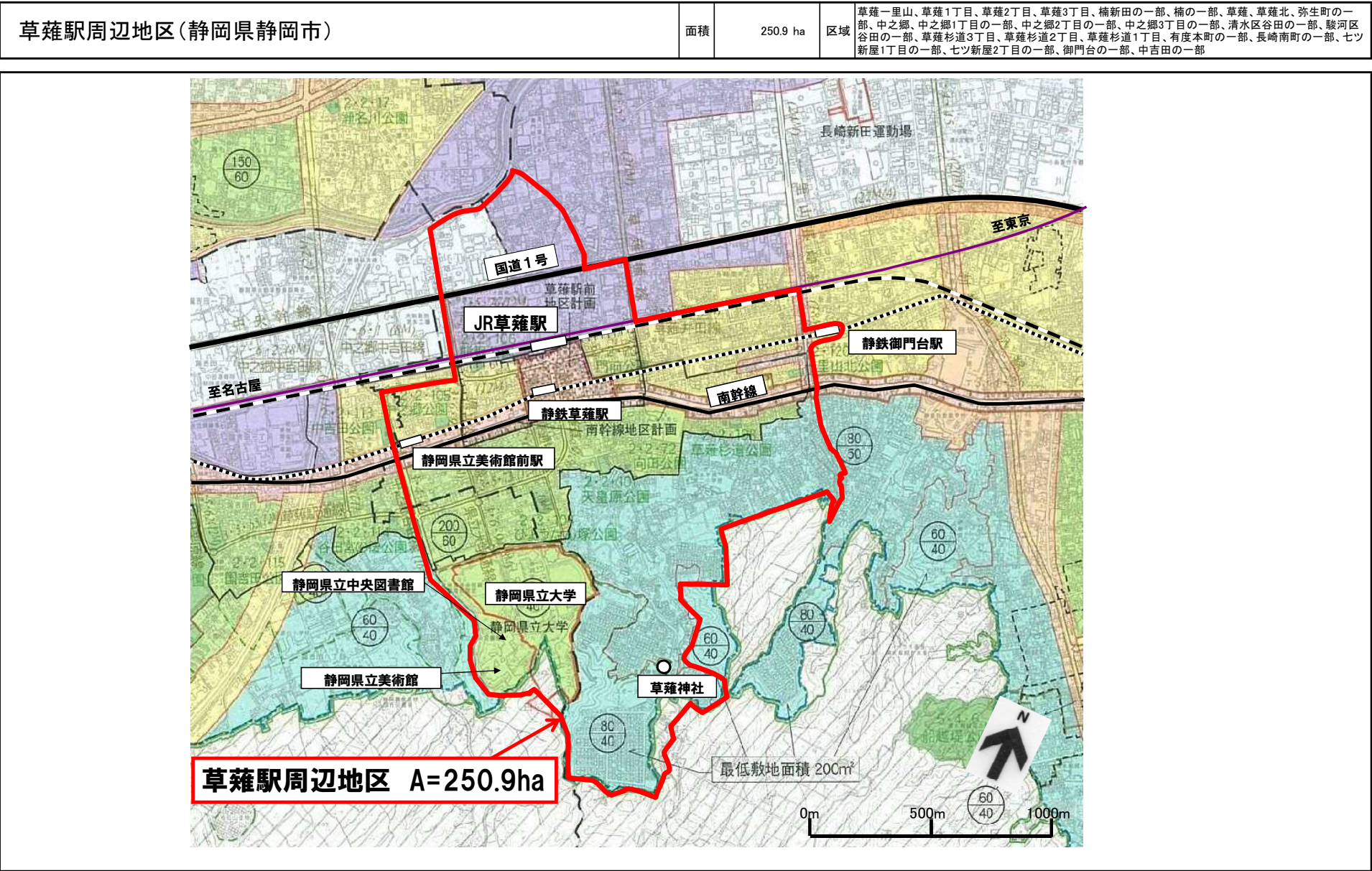
計画区域の整備方針	草薙駅周辺地区	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅周辺の整備・開発に合わせた、沿道や駅前広場等公共空間に質の高い緑を確保する。</p> <p>・地域住民や来街者が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の空間を確保するため、駅周辺の整備・開発に合わせ、沿道や駅前広場等の公共空間において、質の高い緑の整備をする。</p>		<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業: JR草薙駅北側歩道整備事業、JR草薙駅南口駅前広場整備事業</p> <p>地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業</p> <p>まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>(都)草薙駅北口通り線整備事業</p>
	<p>整備方針2: 駅舎、駅前広場等、駅周辺の整備により、安全安心な生活環境を整える。</p> <p>・鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区の住民の自由でバリアフリーな往来を実現するため、JR草薙駅橋上駅舎化及び南北自由通路並びに駅周辺の整備による交通結節機能の強化と幹線道路整備事業の推進を図る。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業: JR草薙駅北側歩道整備事業、JR草薙駅南口駅前広場整備事業</p> <p>地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業、</p> <p>地域生活基盤施設(情報板): JR草薙駅周辺公共サイン整備事業</p> <p>高質空間形成施設(緑化施設等): 草薙駅北口広場整備事業</p> <p>【提案事業】</p> <p>まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>(都)草薙駅北口通り線整備事業、(都)草薙駅南北自由通路整備事業、草薙駅周辺地区バリアフリー道路特定事業、市道草薙楠4号線整備事業、草薙駅周辺地区駐車場整備計画見直し事業、JR草薙駅橋上駅舎整備事業、草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業</p>
<p>整備方針3: 地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりの推進体制づくりを検討する。</p> <p>・持続可能なまちづくり体制を構築するため、地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりの推進体制づくりの検討を行う。また、活動を推進するための、地域交流拠点などの検討も行う。</p>		<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業: JR草薙駅南口駅前広場整備事業</p> <p>地域生活基盤施設(広場): JR草薙駅南口駅前広場整備事業</p> <p>【提案事業】</p> <p>まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>草薙駅南口地区第1種市街地再開発事業</p> <p>【協定制度等】</p> <p>都市利便増進協定、道路占用許可特例</p>
その他		

交付対象事業費	1,479.0	交付限度額	591.6	国費率	0.4
---------	---------	-------	-------	-----	-----

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直ノ間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		JR草薙駅北側歩道		直	L=140m、W=5m	H25	H27	H27	H27	207	57	57.0		57.0
		JR草薙駅南口駅前広場	静岡県	直	A=2,300㎡	H25	H30	H27	H30	266	241	241.0		241.0
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	(広場)	JR草薙駅南口駅前広場整備事業	静岡県	直	A=2,800㎡	H27	H30	H27	H30	582	582	582.0		582.0
	(情報板)	JR草薙駅周辺公共サイン整備事業	静岡市	直	約30基	H27	H30	H27	H30	84	84	84.0		84.0
高質空間形成施設	(緑化施設等)	草薙駅北口広場整備事業	静岡市	直	A=3,100㎡	H28	H29	H28	H29	406	406	406.0		406.0
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(中心拠点誘導施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,545	1,370	1,370.0	0.0	1,370.0
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直ノ間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														
事業活用調査	事業効果分析	草薙駅周辺地区	静岡県	直	-	H29	H31	H29	H31	73	73	73.0		73.0
まちづくり活動推進事業	まちづくり活動支援事業	草薙駅周辺地区	静岡市	直	-	H27	H31	H27	H31	36	36	36.0		36.0
合計										109	109	109.0	0.0	109.0
													合計(A+B)	1,479.0

[illegible]

都市再生整備計画の区域



## 協定制度等の取組

### 官民連携によるエリアマネジメント方針等

事業番号	事業	事業の目的/事業によって解決される課題	事業期間	事業主体(占用主体)	活用する制度			
					道路占用許可特例(都市再生特別措置法46条10項)	都市再生整備歩行者経路協定(都市再生特別措置法46条12項)	都市利便増進協定(都市再生特別措置法46条13項)	河川敷地占用許可(河川敷地占用許可準則22)
1	●常設オープンカフェ(食事施設等)の設置・管理 オープンカフェ等を設置し、適切に維持管理することにより、まちの賑わいを創出する。	地域住民が集うことのできる機会や滞留空間を形成することにより、まちの賑わいを創出する。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド	○		○	
2	●屋外ベンチ、プランターの設置・管理 屋外ベンチやプランターを設置し、適切に維持管理を行うことにより、歩行者の休憩や滞留を促進し、まちの賑わいを創出する。		H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド			○	
3	●広告板・バナーフラッグの設置・維持管理 地域の魅力を発信することのできる広告板を設置し、適切に維持管理を行う。	広告板やバナーフラッグの設置により、地域のイメージを体感することのできるPRの場を創出するとともに、広告料収入を地域貢献の取組みに充当することで、地区全体の活性化につなげる。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド			○	
4	●防犯カメラの設置・管理 防犯カメラを設置することにより、まちの安全性を高める。	安心安全な地域にすることにより、まちの魅力を高める。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド			○	
5								

制度別詳細1（道路占用許可に関する事項） 都市再生特別措置法46条10項

制度の活用計画			
占用対象施設		占用の場所	道路交通環境の維持及び向上を図るための措置
道路 占用 許可 特例 対象 施設	1	●常設オープンカフェ（食事施設等）の設置、管理 ＜対象施設：食事施設、休憩施設等＞ ※オープンカフェで設置するテーブル、イス、パラソル、ベンチ、ブラン ター等	別紙制度別詳細1－1のとおり
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		

- ・食事施設及び周辺の清掃を実施する
- ・歩行者の支障にならないよう有効幅員を確保する
- ・食事施設の周辺に違法駐輪が増えないよう、利用者への周知を図る

制度別詳細2(都市利便増進協定に関する事項) 都市再生特別措置法46条15項

制度の活用計画				
事業内容		事業期間	取組主体	活用する制度の詳細
1	●常設オープンカフェ(食事施設等)の設置・管理 オープンカフェ等を設置し、適切に維持管理することにより、まちの賑わいを創出する。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド	1. 協定締結者 一般社団法人草薙カルテッド、地権者  2. 都市利便増進協定を想定している区域 制度別詳細2-1①②③赤枠の範囲  3. 協定内容 (1)協定の目的となる都市利便増進施設 ・広告板、バナーフラッグ ・テーブル ・椅子 ・常設の小規模売店 ・パラソル ・屋外ベンチ ・プランター ・防犯カメラ  (2)都市利便増進施設の整備方法、費用負担 ・広告板、バナーフラッグの整備は静岡市が行う。 ・上記以外に関しては、国及び静岡市の補助等を活用し、一般社団法人草薙カルテッドが整備する。  (3)都市利便増進施設の管理方法、費用負担 一般社団法人草薙カルテッドは、協定区域内について、以下を実施する。 (都市利便増進施設の日常管理業務については、一般社団法人草薙カルテッドが第三者に委託しても構わない。) ○都市利便増進施設及び周辺の維持管理の実施 ○都市利便増進施設及び周辺における良好な景観の保全 ・広告料収入を、上記施設の維持管理費や、他の地域貢献の取組みに充当する。
2	●屋外ベンチ、プランターの設置・管理 屋外ベンチやプランターを設置し、適切に維持管理を行うことにより、歩行者の休憩や滞留を促進し、まちの賑わいを創出する。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド	
3	●広告板・バナーフラッグの設置・管理 地域の魅力を発信することのできる広告板や、誰にでも分かりやすい案内板を設置し、適切に維持管理を行う。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド	
4	●防犯カメラの設置・管理 防犯カメラを設置することにより、まちの安全性を高める。	H30～H31	一般社団法人草薙カルテッド	
5				
6				



## 制度別詳細1－1（道路占用に関する事項）

### 制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等の配置を示す地図



#### <施設のイメージ>



#### <凡例>

道路占用許可特例の対象となる施設

■ 食事施設、休憩施設等

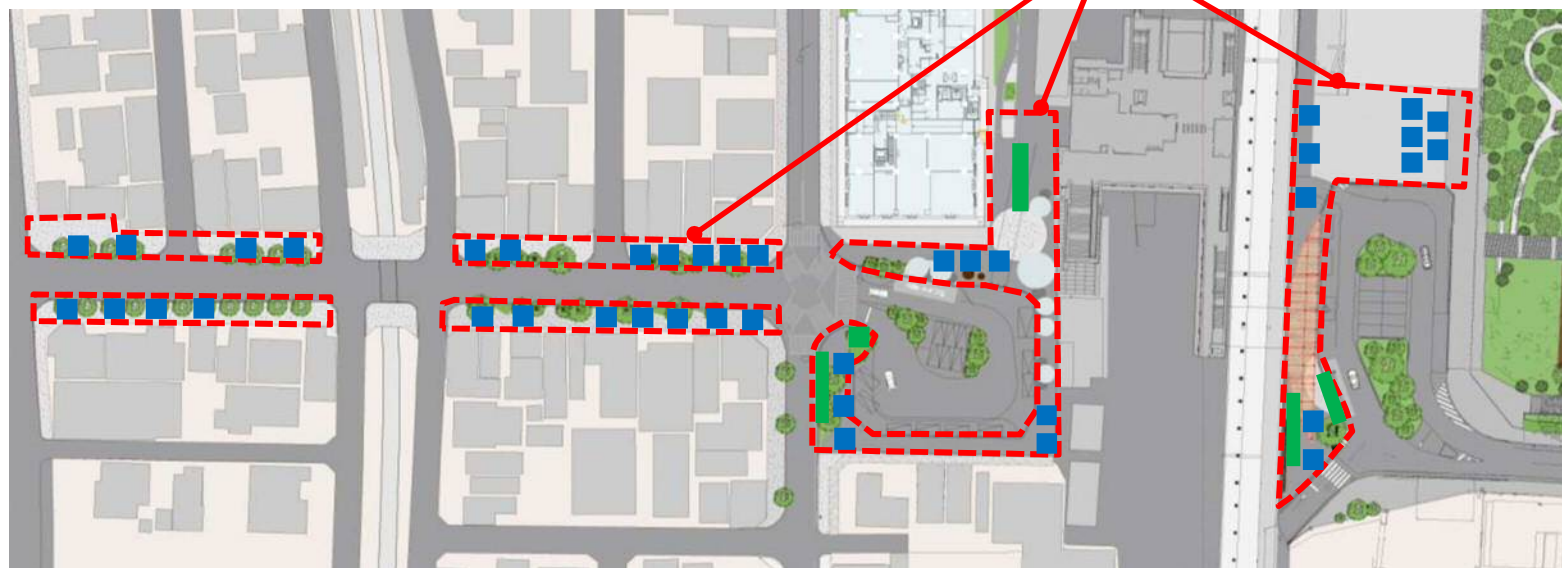
## 制度別詳細2-1-①(都市利便増進協定に関する事項)

### 制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ

- 【事業番号1】 食事施設、休憩施設の設置、管理
- 【事業番号2】 屋外ベンチ、プランターの設置・管理

都市利便増進施設の一体的な  
整備・管理が必要と認められる区域



#### <施設のイメージ>



#### <凡例>

当該区域で設置を予定している都市利便増進施設

- 1. 食事施設、休憩施設
- 2. ベンチ、プランター 等



## 制度別詳細2-1-②(都市利便増進協定に関する事項)

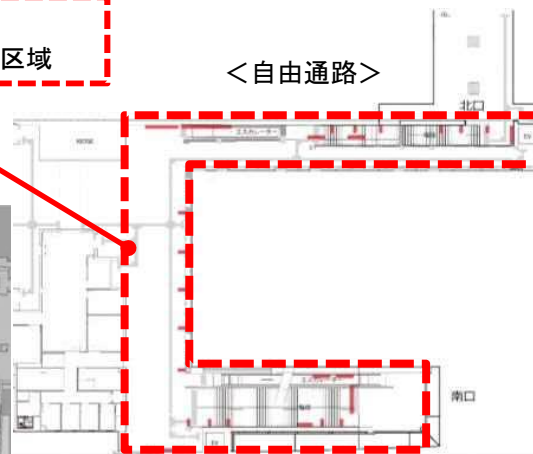
### 制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ

#### 【事業番号3】 広告板・バナーフラッグの設置・管理

都市利便増進施設の一体的な  
整備・管理が必要と認められる区域

<自由通路>



#### <施設のイメージ>



#### <凡例>

当該区域で設置を予定している都市利便増進施設

■ 広告

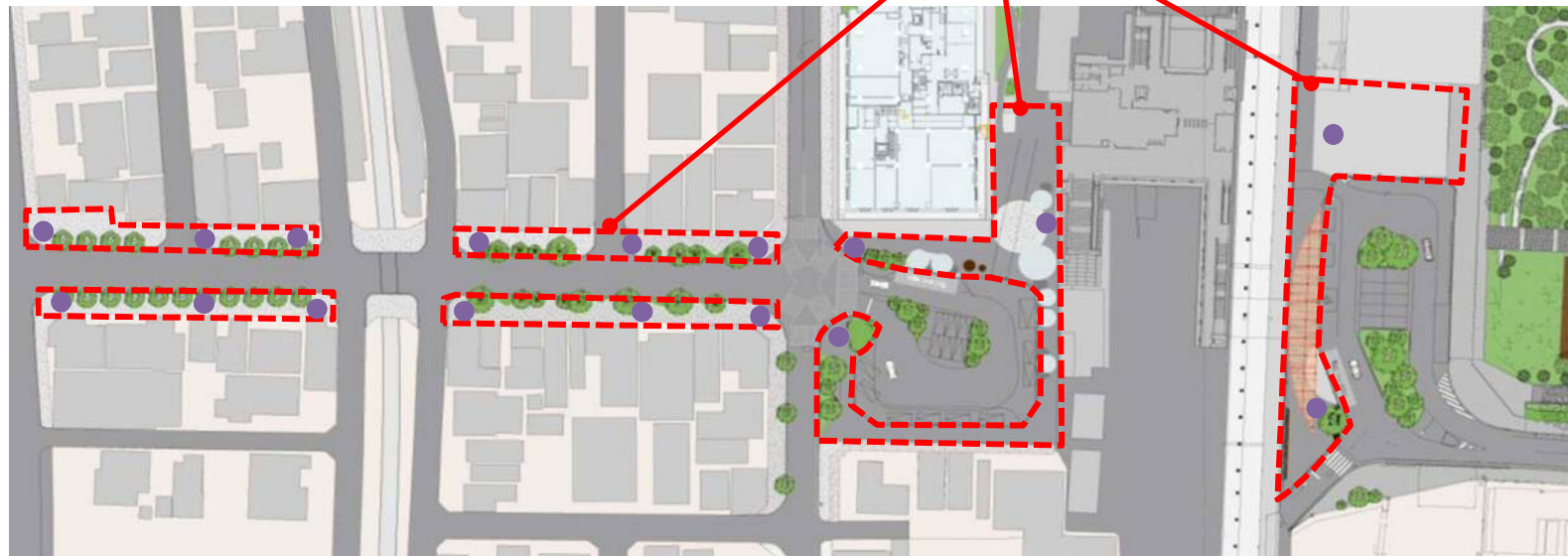
## 制度別詳細2－1－③(都市利便増進協定に関する事項)

### 制度別詳細【都市利便増進協定】

制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ

#### 【事業番号4】 防犯カメラの設置・管理

都市利便増進施設の一体的な  
整備・管理が必要と認められる区域



#### <凡例>

当該区域で設置を予定している都市利便増進施設

● 防犯カメラ



# 草薙駅周辺地区（静岡県静岡市） 都市再生整備計画事業概要図

目標	大目標：草薙駅周辺環境整備の推進と、産官学民によるまちづくり推進体制の構築 ・駅周辺の整備・開発に合わせ、街の顔としての、沿道の緑化や駅前広場等の公共空間への質の高い緑の配置など、人々が気持ちよく回遊し滞留し交流できる緑の整備 ・駅周辺における、歩行者や自転車の移動環境の安全性の確保・利便性の向上と、誰もが安心感を得られる防犯性の向上 ・まちの特色である「文教」や「にぎわい」を創出するような公共空間の利活用や維持管理を視野に入れたまちの管理運営体制の構築	代表的な指標	1. 駅前広場及び沿道の緑化に対する満足度（％）	30.3％（平成26年度）→ 43.8％（平成31年度）
			2. 駅前広場及び沿道の環境空間の割合（％）	36.7％（平成26年度）→ 54.1％（平成31年度）
			3. 公共空間の利活用や維持管理体制の構築に伴う、草薙のまちへの愛着度（％）	32.0％（平成26年度）→ 41.5％（平成31年度）

